

誰ひとり取り残さない！ 気候変動を構造的にとらえ未来につながる 教育プログラムづくり

活動地域  大阪府



大学のゼミと一緒に公害に関する動画づくりワークショップ

課題

気候変動によって多数の災害が引き起こされ、社会的な弱者が取り残される状況になっている。気候変動を自分ごととして捉え自ら行動できる市民の力が必要である。

目標

気候危機に対して自律的に行動できる市民の力により、気候危機を緩和する。気候変動によって社会的弱者が取り残されない社会となる。



今後の展望

教材のお試し会を行い、ブラッシュアップを行うほか、地域づくりを視野に入れた防災教育等多様な教育方法を検討し、教材を改善する。

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

- 気候変動×防災×公害を学ぶ教育プログラムの開発、公害の経験から学ぶ教材づくり、「誰一人取り残さない」ための教育に取り組んだ
- 成果物として、「気候変動×防災×公害を学ぶハンドブック」を改訂した他、大学生と一緒に「大気汚染公害患者のインタビュー動画」の作成、冊子「誰一人とり残さない教育のために 公害・被災・人権教育の接点から(仮)」の原稿案の作成に取り組んだ
- 教材案を大学で実施し、公害や気候変動に対する理解が深まり、市民として何を果たすべきかを考えるきっかけになったとの感想が得られた



公害に関するロールプレイ教材の実施の様子

教育プログラム案実施

10回

公害についての
動画づくりWS

2回

今年度計画の達成度

75%

全体計画の達成度

60%

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

課題解決に向けて公害の経験から学ぶ教材に取り組んでいるが、若い世代は公害をリアリティをもって捉えることが困難である。

■工夫した点

龍谷大学政策学部清水ゼミとともに、学生の視点から公害経験者のインタビュー動画を撮影し、一緒に教材づくりに取り組んでいる。

〒555-0013

大阪府大阪市西淀川区千舟
1丁目1番1号 あおぞらビル4階
電話：06-6475-8885

E-mail: webmaster@aozora.or.jp

HP: <http://aozora.or.jp/>

